

国土交通大臣 殿

住 所 長崎県佐世保市八幡町1番10号
氏名又は名称 佐世保市地域公共交通活性化協議会
会 長 朝長 則男 印

平成26年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
（地域公共交通調査事業）交付申請書

平成26年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業）金●●●●●●円を
交付されるよう、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）第5条
の規定に基づき、別紙関係書類を添えて申請します。

平成26年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
 (地域公共交通調査事業) 交付申請事業

補助対象事業者名 佐世保市地域公共交通活性化協議会

(単位:円)

補助対象事業の 名称及び内容	補助対象事業の着手 及び完了予定日	補助対象経費	補助金額
佐世保市公共交通網形成計画策定調査 業務 ・都市マスタープランと現状の公共交 通網との整合性整理 ・赤字バス路線等(乗合タクシーも含 む)の現状把握 ・路線バスの需要供給バランス調査 ・JR九州・松浦鉄道と路線バスの役割 分担の整理 ・利便性向上策や利用促進策の事業提 案 ・公共交通網形成計画案の作成 ・協議会開催	着手予定日 交付決定日以降 完了予定日 平成27年3月31日	●●●●●●●●	●●●●●●●●

(添付書類)

- (1) 地域公共交通調査事業の実施に関する計画
- (2) 補助対象経費に係る見積書
- (3) その他補助金の交付に関して参考となる書類

地域公共交通調査事業の実施に関する計画

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

本市は長崎県の北部に位置し、人口 255,347 人（平成 26 年 7 月 1 日現在）、総面積 426.58 km²。県庁所在地である長崎市までは高速バスで約 1 時間 25 分、九州の中心地である福岡市までは約 2 時間と比較的アクセスもよく、観光面では日本最大級のテーマパークであるハウステンボスや西海国立公園の九十九島に代表される様々な観光資源を有しており、県北の交通・経済の拠点である。

JR 佐世保駅を中心に鉄道・バス等の公共交通網が広がっており、路線・便数ともに充実しており、特に中心地の一定区間においては、1 日 1,000 往復以上のバスが運行されている。

まず、鉄道の状況としては、佐世保駅から南部に向かって JR 九州が運行されており、市外や県外におけるインバウンド、アウトバウンドとしての交通の要、或いは近郊の通勤通学者の交通の足となっている。また、北部に向かっては、JR 九州の路線を引き継いだ第三セクターの松浦鉄道が運行されており、佐世保市を生活圏内とする方々の生活路線の足として利用されている。どちらもここ最近の利用者は微増しているものの、全国的にみて地方鉄道の経営は厳しいことから、状況に注視していく必要がある。

特に松浦鉄道は、施設整備費に関して国庫補助を除いた金額を関連自治体で分担して補助している。さらに、H26 年度に関しては国庫補助金が減額内示となったため、費用捻出に苦慮しており、今後もこのような状況が続けば経営及び安全管理への影響が危惧される。本市の平成 26 年度の施設整備に係る負担想定額は 38,419 千円であり、本市北部の生活路線の維持として必要な補助とはなっている一方、松浦鉄道はバス路線と並行して運行されており、その役割分担が疑問視されている状況もある。

次に、バスの状況としては、佐世保市交通局と民間の西肥自動車(株)の 2 社の乗合バス事業者が運行されているが、互いに輻輳している路線が多いうえ、近年の急激な少子高齢化や人口減少、自家用車の普及による利用者減の影響で苦しい経営状況を強いられている。また、佐世保市が 100% 出資している、させぼバス(株)は佐世保市交通局から一部、路線を委託されており、民間並みの経費で運行を行っている。

また、平成 17 年 4 月 1 日、平成 18 年 3 月 31 日、平成 22 年 3 月 31 日に佐世保市周辺の 5 町と離島 1 町が合併され、市域は 1.7 倍程度に広がった。もともと市内中心地とを結ぶ広域的なバス路線や鉄道は発達していたものの、バス路線については赤字路線が多く、廃止代替バス路線や離島の島内バスの維持に対して補助を行っており、平成 25 年度実績では、市内のバス路線維持に係る補助金約 33,244 千円のうち、約 7 割を占めている。

さらに、本市の課題として、公共交通の利用が不便な地域に対しての対策も必要となっている。合併地域を中心として、人口集積が少ないためにバス路線網が行き渡っていない地域の対策としては、住民との協議を重ねて予約型乗合タクシー等の導入検討を行っているところである。また、市内中心の人口集積がある地域であっても、地形的に斜面地が多く、かつ住宅が密集している箇所が多いので、公共交通機関が通っていないところも点在している状態であり、十分な対策にま

では至っていない。現在、取り組んでいる地域はまだ3地域であり、交通不便地区対策としてはH25年度の実績として5,614千円の補助額となっている。

上記のような状況があり、本市が負担する交通政策部門からの陸上交通に係る補助金等の平成26年度における年間経費は78,221千円が見込まれている。この額は年々増加する傾向にあり、利用者の減少等のため公共交通事業者の経営も厳しくなる中、このままでは公共交通の維持は危機的な状況に陥ることが想定される。

従って、持続可能な総合的かつ効率的な公共交通体系の構築のためには、公共交通事業者の現状を踏まえたうえでそれぞれの役割を整理し、サービス面及び経営面についての改善を図ることが喫緊の課題となっている。

2. 目指す交通計画と策定調査の必要性

前述した本市の課題の解決に向け、公共交通体系を見直すことを目的として佐世保市地域公共交通網形成計画を策定する。

計画策定のためには、本市のまちづくりの基本方針に沿った交通体系にするために、まずは都市計画マスタープランと公共交通網の整合性における現状での課題について調査・整理を行い、交通体系を見直すうえでの基本方針を作成する必要がある。当然、そこには交通不便地区対策の方針も含まれてくる。

その他、路線バス等の収支状況の調査、需要と供給のバランス調査、鉄道とバスの連携調査や役割分担調査、市内の利用者の視点と来訪者の視点からの公共交通の現状調査を行うことで、適正なバス路線の本数や路線の見直しの必要性及び公共交通の利便性向上のための対策につながるものとする。

さらに、次の段階として、特にバスの再編を主眼におく佐世保市地域公共交通再編実施計画の策定を見据えた調査事業の実施、策定を目指す。

3. 事業の実施内容	
実施項目	実施内容
都市マスタープランと現状の公共交通網との整合性整理	当市で策定している都市マスタープランの内容と、現状の公共交通を比較し、整合性の取れている部分とかい離している部分を整理する。
赤字バス路線等（乗合タクシーも含む）の現状把握	バス路線ごとの収支状況を分析し、今後の収支状況の推移も見据えながら現状把握を行う。
路線バスの需要供給バランス調査	現在の路線の状況は需要とマッチしているかどうか検証し、場合によっては路線変更案等を示す。また、適正なバスの運行本数の基準を提案したうえで、需要に見合う適正本数を導き出す。
JR九州・松浦鉄道と路線バスの役割分担の整理	鉄道とバス・鉄道どうしのダイヤの連携状況を分析し、鉄道ダイヤの充足度を把握する。特に佐世保市内に限定した場合の松浦鉄道の必要性の整理等を行う。
利便性向上策や利用促進策の事業提案	上記の調査・分析や、既存のアンケート結果等、市内利用者及び来訪者の視点から住民のニーズを把握し、今後に向けた事業計画を提案する。 後年度の地域協働推進事業計画策定につながるものを含み、その計画を策定することで新たに国のフィーダー系統の補助対象となる路線を設けることも想定に入れる。
公共交通網形成計画案のとりまとめ	上記の調査及び既存のデータ等から、現時点でのとりまく環境や課題把握、まちづくりと連携した公共交通の役割、方向性の整理、目標の設定、それらを実現するための事業概要等を取りまとめる。
協議会開催	計画策定に向けて行った調査の結果を受けて、合理的かつ利便性の高い理想の交通体系に近付けるための青写真を描く協議会を開催する。

4. スケジュール									
実施項目	4月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域公共交通活性化再生法改正の施行（11月想定）					▲				
国庫補助関係事務（H26年度申請）					↔				
国庫補助交付決定					▲				
佐世保市地域公共交通活性化協議会開催			▲			▲		▲	▲
幹事会開催					▲	▲			▲
委託事業者選定作業			↔						
委託事業者との契約					▲				
委託事業者による調査作業（交通事業者との打合せ、調整含む）						↔			
地域公共交通網形成計画案についてのパブリックコメント募集									↔
国庫補助関係事務（実績報告及びH27年度申請）									↔

5. 予算計画				
実施項目	総事業費 （見込み）	補助対象経費 （見込み）	国費 （見込み）	地域の負担 （見込み）
都市マスタープランと現状の公共交通網との整合性整理				
赤字バス路線等（乗合タクシーも含む）の現状把握				
路線バスの需要供給バランス調査				

事務局作成中

JR 九州・松浦鉄道と路線バスの役割分担の整理				
利便性向上策や利用促進策の事業提案				
公共交通網形成計画案のとりまとめ				
協議会開催				
合計				